

日時：平成 27 年度 10 月 7 日（水） 14 時より

場所：校長室

次第

1. 会長挨拶

2. 校長挨拶

3. 議事 1－今年度の重点目標の進捗状況報告

・教務部より

早めの連絡と期限厳守を心がけている。考査等の注意事項の徹底
専門コースのカリキュラムやルールを検討中

・生徒指導部より

遅刻指導の強化－現在 1455（昨年 1820）

学習課題者 14人28回、遅刻常習者が多い

部活動の活性化－加入率 59%→51%(1・2年生)、2年生の加入率低い

身だしなみ指導－スカート丈短い生徒は減少

交通マナー－学校周辺からの苦情はなくなったが、登下校中での苦情が時折ある

交通事故が増加－現在 12件（昨年度総数 11件）、継続的に注意喚起

・進路指導部より

家庭学習時間の確保－進路カルテの有効活用

補習・講習の実施－夏期講習 1・2年 20名程度／講座、3年多種

進路指導の充実－閲覧室・自習室の整備（エアコン、WiFi、書籍など）

保護者向け進路説明会実施など

・保健部より

基本的な生活習慣の改善－生徒保健委員による「保健だより」5回発行で意識喚起

美化活動の改善・定着－1学期の安全点検では修理完了

各種行事を通じて、周囲との協調性を育成－体育大会・文化祭でのゴミの分別の徹底

・総務企画部より

タイムリーな情報発信－携帯連絡網の活用、7月に部活動のHP更新

中学校への広報活動－第1回説明会（7/17→9/5）、増えている<H26(112名)→H27(224名)>

11月に2回目の中学校訪問実施予定

P T A活動の充実－体育大会の給水、文化祭のバザーの積極的参加

・3年より

遅刻指導－遅刻者数 1000件を超えそう。遅刻指導女子が多い。

行事－体育大会、文化祭、彼らなりによくやったのではないか

・2年より

進路選択の意識喚起－R-CAPの実施、オープンキャンパスほぼ全員参加し、レポート提出

遅刻指導－昨年より数が多い<799/1年次→480/2年9月>

行事－修学旅行に向けて、生徒に自主的活動を促している。

・1年より

遅刻指導一体調不良者続出→欠席増えている

保健室の利用数100名越える…特定のクラスに偏る

女子のグループでのトラブル

<女子の退部率高い>

クラス・クラブになじめない生徒が増えてきた

進路選択の情報提供—大学見学会…早くから準備できた

↓分野別説明会…意識は高まった

エリア希望調査

受験サプリの後追い指導が難しい

オープンキャンパスへは、積極的に参加した

行事—クラス活動は特定の生徒がやり、残りははしゃいでいる

交通事故が多い

全体で質問・アドバイスは？

○退部について—完全にやめてしまうのか

→変更はほとんどいない

アルバイトをしている<家計のため、1年で30名ほどいる>

顧問と相談後、担任に相談（引き止められない）

○遅刻について—携帯連絡網は生徒に発信？

→学校から保護者へ、メール配信なので全体連絡

遅刻者には担任が個別に連絡

○人間関係気になる（不登校など）

○不登校いないのか？

→1年 女子1名、男子1名

小中学校では生活環境がしんどい、親の言うこときかない。

スクールカウンセラーに相談するが生活変えられない

○小中学校でも、母親が遅くまで連れまわしている例がある。

母親に指導すると自己否定されたと思い、逆切れされる

母親への指導のレベルを下げる必要がある。

生徒の人とつながる力が弱い、自己肯定感も弱い

→ラインができてから、会話しなくなった

○危機的状況にならないか心配

保健室に行ってる→来なくなったら、学校に来なくなる？

このままでは悪化していく

保健室の利用については？ 現状の人間関係は？

担任が生徒のことを理解しているのか？

排他的なグループを作っていないか？

生徒の男女比率は？

→3年 男133人：女175人 / 2年 男108人：女156人 / 1年 男99人：女182人

→男女比率の枠がなくなったから

○担任が1人で抱え込まないで組織化する<例：人推委+保健部+担任 など>

→教育相談委員会が対応

授業・休み時間に感度を上げる

- 赴任後、2年間は問題行動（器物破損など）が400件を超えていた
廊下に張り付く、休み時間にコミュニケーションをとり、今年はほとんどいない
子供たちに何か活動をさせる（生徒会の取り組みとして入室指導をするなど）
- スマホ・フォーラム（ライン問題）に参加した。
未読者をのけた生徒間でラインなど、問題がある
→教員はライン・エイリアン、生徒はライン・ネイティブ 教員が学ぶ必要がある
- 小中でも KDDI に来てもらったけど、止まらない。既読無視→ラインはずし
- 自転車事故多発で、自転車保険を義務化するような取り組みは？
→現在7割ほど加入、100%加入を目指したい
- 学校説明会のときに生徒は関わっているか？
→土曜日のため、生徒会が司会、クラブ生徒が見学

4. 協議2－再編整備の概要について

- ・「普通科専門コース設置校 みどり清朋高等学校」学校概要（別紙）を7月中旬にHPにアップした。
学校紹介パンフレット作成した。
4つの生徒に育みたい力
人文探究コース、こども保育コースについて
1年で少人数授業＜数学、英語、国語＞
2年次に意欲のある生徒はコースを選択
- ・ピグマリオン効果とミラーリング効果
アクティブラーニング型授業への取り組み
iPad 21台 10/19より使用できる環境→オンライン講習で使用
○活用してほしい。生徒への援助方法は考えているのか（同窓会など）。
→学びなおし指導 +α（オンライン講習）＜全員ではない＞

5. 協議3－大阪府立高校をめぐる状況について

- ・入学者選抜の方法（別紙）について説明
一部が前期、ほとんどが後期（昔の1回に戻った?）
学検 90点×5 調査書 絶対評価5段階×10 →総合点
- ・本校では、タイプⅡ 6：4
学力検査 3パターン中「B」
- ・Step4 「アドミッションポリシー」
○アドミッションポリシーの合格%は決まっているのか
→決まっていない
- 中学校は全員分考えないといけない
- 0%はないのか？
→何も決まっていない
- 中学校の先生の力量にかかるのはどうか？
→添削などは行う
- 公正な選抜になりますように

6. 事務連絡－次回日程

平成28年2月8日（月） 14時より

以上